

令和4年度 事業報告書

社会福祉法人 託麻会

- ◎ 障害者支援施設 「朋暁苑」
- ◎ 生活介護事業所 地域生活支援センター
「託麻大地」
- ◎ 共同生活援助事業所 グループホーム
「まんまん」
- ◎ 朋暁苑指定相談支援事業所

基本方針

- 1 人として共に生き「個人としての尊厳を重視」した豊かな生活の場とする。

利用者が自立して生活できるよう、利用者個々の生活内容に応じて援助し、かつ、利用者の自己選択・自己決定を尊重した生活ができるよう支援する。

- 2 職員は、専門職としての誇りを持ち、知識・技術の高揚・研鑽に努める。

職員は、社会福祉業務に携わる社会的責任を自覚し、専門的な知識・技術などを習得して、日常業務の中に反映させるとともに、苑の使命達成のため誠実に業務の推進に努める。

- 3 地域に愛され信頼される施設作りに努める。

関係各機関・団体などとの連携を深めるとともに、ショートステイなどの居宅支援事業の実施により、地域福祉サービスの拠点としての体制整備に努める。

経 営 理 念

1 （利用者の尊重）

利用者の意思や人格を尊重し、利用者の立場に立ったサービスを提供します。

2 （自立支援）

利用者の持つ能力に応じて自立した日常生活を営むことができる支援をします。

3 （安心した生活）

利用者や家族が安心して生活できるよう支援します。

4 （地域との連携）

地域住民またはその自発的な活動等との連携協力を行う等の地域との交流につとめ、地域の福祉サービスの拠点を目指します。

施設の概要

令和5年3月31日現在

施設名	朋暁苑		運営主体	社会福祉法人託麻会	設立年月日	平成6年7月1日	定員80名	
種別	障害者支援施設	所在地	熊本市東区小山2210番地		理事長	満永 寿博	管理者 満永 勝士	
敷地	7,280.75㎡		*居室	2人部屋 40室				
建物	平屋 3,029.87㎡			1人部屋 ALS室2部屋 ショートステイ4部屋				
	*特別浴室／一般浴室／脱衣室／食堂／機能回復訓練室							
	*その他(事務室／会議室／医務室／相談室／厨房／ケア室等)							
入所定員	80名			入所者現員	74名			
常勤職員数	56名			非常勤職員数	6名			
入所者の現況	障害支援区分の割合	区分6 61人		区分5 10人	区分4 3人	区分3 0人	区分2 0人	
	障害・疾患別割合	脳性まひ	35%	脳血管障害	19%	脊髄損傷	1%	
		特定疾病(介護保険適用)		24%		特定疾患(難病)		7%
		その他	20%	※「特定疾病」と「特定疾患」の両方に該当する症状(例:ALS、パーキンソン病等)をお持ちの利用者については、「特定疾病」と「特定疾患」の両方にそれぞれカウントしている。				
	年齢構成	30歳未満	11%	30～39歳	7%	40～49歳	5%	
		50～59歳	8%	60～69歳	30%	70歳以上	39%	
	重複障害等の状況	視覚障害	9%	てんかん	41%	知的障害	47%	
		認知症症状	1%	精神科疾患	11%	遷延性意識障害	3%	
	意思疎通の状況	意思疎通は可能		50%		意思疎通はやや困難		23%
		意思疎通は極めて困難		19%		判断が難しい		8%
施設が実施する在宅福祉サービスの現状	<ul style="list-style-type: none"> ・短期入所事業・日中一時支援事業(4名)・相談支援事業 ・生活介護事業(80名) ・施設入所支援(80名) 							
特徴的な事業や重点事業等	<ul style="list-style-type: none"> ・レクリエーション・日中活動を実施し日中サービスの充実を図っている。また、地域に開かれた施設を目指し積極的に地域交流を図っている。 ・利用者の意向を尊重した個別支援計画を作成し、希望に沿った生活の実現に努めている。 							
【基本方針】								
<ol style="list-style-type: none"> 1 人と共に生き「個人としての尊厳」を重視した、豊かな生活の場とする。 2 職員は、専門職としての誇りを持ち、知識・技術の高揚・研鑽に努める。 3 地域に愛され信頼される施設作りに努める。 								

令和4年度 朋暁苑事業報告書

月	会議等	行事等	保健衛生等	研 修 会 等
4月	職員会議 給食会議・懇談会 行事運営会議 各種委員会 支援検討会	衛生チェック・体重測定 車椅子点検・清掃 個別支援外出 お花見	厨房内害虫駆除 美化作業 職員健康診断	
5月	職員会議 給食会議・懇談会 行事運営会議 各種委員会 支援検討会	衛生チェック・体重測定 車椅子点検・清掃 ドライブ外出	厨房内害虫駆除 美化作業 職員健康診断	・熊本県社会福祉法人経営青年会、労務管理研修会
6月	職員会議 給食会議・懇談会 行事運営会議 各種委員会 支援検討会	衛生チェック・体重測定 車椅子点検・清掃 外出支援 託麻大地交流会	厨房内害虫駆除 衣替え 美化作業 職員健康診断 利用者健康診断	・キャリアパス対応生涯研修課程初任者コース ・キャリアパス対応生涯研修課程中堅職員コース
7月	職員会議 給食会議・懇談会 行事運営会議 各種委員会 支援検討会	衛生チェック・体重測定 車椅子点検・清掃 アイスクリーム会	厨房内害虫駆除 美化作業 職員健康診断 利用者健康診断	・サービス管理責任者等更新研修 ・オンラインモチベーションアップ研修会 ・身体障害者施設サービス向上研修会 ・青年会総会、第一回定例勉強会 ・キャリアパス対応生涯研修課程 ・青年会セミナー総会、第一回定例勉強会
8月	行事運営会議 給食会議・懇談会 各種委員会 支援検討会 職員会議	衛生チェック・体重測定 車椅子点検・清掃 夏祭り(プロジェクター花火鑑賞) /かき氷お楽しみ会	厨房内害虫駆除 美化作業	・相談支援従事者初任者研修①② ・タイムマネジメント研修会 ・青年会、組織、人材マネジメント委員会主催セミナー ・安全運転管理者講習
9月	職員会議 給食会議・懇談会 行事運営会議 各種委員会 支援検討会	衛生チェック・体重測定 車椅子点検・清掃 調理実習	美化作業 厨房内害虫駆除	・九州身体障害者施設研究大会 ・相談支援従事者初任者研修③ ・全国身体障害者施設協議会研究大会 ・キャリアパス対応生涯研修課程、チームリーダーコース

10月	<p>行事運営会議 各種委員会 支援検討会</p>	<p>衛生チェック・体重測定 車椅子点検・清掃 託麻大地交流会</p>	<p>衣替え 美化作業 厨房内害虫駆除 ワクチン接種 (コロナウイルス 3、4回目)</p>	<p>・相談支援従事者初任者研修</p>
11月	<p>職員会議 給食会議・懇談会 行事運営会議 各種委員会 支援検討会</p>	<p>衛生チェック・体重測定 車椅子点検・清掃 文化祭:生花・茶話会</p>	<p>予防接種 (インフルエンザ) 美化作業 厨房内害虫駆除 職員健康診断 利用者健康診断</p>	<p>・ケアフード福岡展示商談会 ・専門職ネットワーク会議 ・2022年度社会福祉士実習指導者講習会 ・熊本県社会福祉法人経営者協議会災害派遣福祉チーム(熊本DWAT) ・全国社会福祉協議会全国身体障害者施設協議会第10回職員スキルアップ研修会 ・令和4年度オンライン予防研修第2回 ・サービス管理責任者等更新研修</p>
12月	<p>職員会議 給食会議・懇談会 行事運営会議 各種委員会 支援検討会</p>	<p>衛生チェック・体重測定 車椅子点検・清掃</p>	<p>厨房内害虫駆除 予防接種 (インフルエンザ) 職員会議 職員健康診断 利用者健康診断</p>	<p>・令和4年度熊本市障がい者理解促進セミナー ・全国社会福祉法人経営者協議会「リスクマネージャー実践講座2022」</p>
1月	<p>職員会議 給食会議・懇談会 行事運営会議 各種委員会 支援検討会</p>	<p>衛生チェック・体重測定 車椅子点検・清掃 新春茶話会</p>	<p>美化作業 厨房内害虫駆除 ワクチン接種 (コロナウイルス4回目)</p>	<p>・相談援助実習指導者連絡協議会 ・施設長及び職員研修会 ・第3回サービス管理責任者等会議 ・令和4年度障害者虐待防止マネージャー研修会 ・新型コロナウイルス感染防止対策研修会</p>
2月	<p>給食会議・懇談会 行事運営会議 各種委員会 支援検討会 職員会議</p>	<p>衛生チェック・体重測定 車椅子点検・清掃</p>	<p>美化作業 厨房内害虫駆除 保健所指導</p>	<p>・社会福祉法人における人事評価実践研修 ・第49回九州障害者支援施設研究大会</p>
3月	<p>行事運営会議 各種委員会 処遇会議 職員会議 給食会議・懇談会 支援検討会</p>	<p>衛生チェック・体重測定 車椅子点検・清掃 お花見外出 ドライブスルー 個別支援外出 外出支援</p>	<p>美化作業 厨房内害虫駆除</p>	<p>・令和4年度オンライン予防研修第3回</p>

令和4年度 利用者支援実績

1. 生活介護事業

令和4年度も利用者のニーズと想いをしっかりと汲み取り個別支援計画を作成、目標達成に向け専門職や担当職員にて支援することができた。

日中活動においては、新型コロナ対策としてソーシャルディスタンスを意識しながら少人数の集団を形成し、ユーチューブ（動画）やアクティビティ用具を活用した室内運動やクイズ・連想ゲーム等の脳トレを行った。

また、令和5年度からのeスポーツ導入に向け、業者を交え職員への研修を行う等の準備を進めていった。外出支援においても感染症の状況に応じ、場所の検討、ドライブスルー等の短距離・短時間での外出等へ切り替えていった。苑内での活動においては、プロジェクターを用いて大画面で花火を観ながらかき氷を楽しんで頂く等、提供できるサービス内容の工夫を行った。

2. 施設入所支援

利用者の重度化・高齢化が顕著に見られている中で、身体機能の低下や入院に至るケースが増えてきていることを受け、担当職員や看護師等の専門職による日々の身体状況や健康状態の把握を行い、異常時の早期発見に努めた。今後も通院や入院に至るケースが増えることが予想されるため、引き続き専門職間の連携を密にして支援していききたい。

また、夜間帯でも看護師を配置したことで、要観察者の継続した状態把握と状況に応じた早期対応を行うことができた。

健康管理については協力医療機関・保健所の助言指導を頂きながら、生活部・看護師・感染症対策委員会が中心となって新型コロナ感染予防対策を実施、利用者・ご家族にも最新の情報を提供しながら蔓延防止に努めた。

3. 苦情解決について

利用者・ご家族からの相談・要望・苦情については、ご意見箱を設置すると共に相談窓口を設け、迅速かつ丁寧に対応した。令和4年度の苦情(要望も含む)は、3件(利用者本人0件・家族3件)で本人・家族及び関係者と話し合いを行いすべて円満解決した。

4. 虐待防止、権利擁護、障害者差別解消法について

虐待防止委員会、研修委員会を中心に権利擁護・障害者虐待防止法・障害者差別解消法についての研修機会を設け啓発活動を心掛けた。毎年11月に実施している虐待防止早期発見チェックリストの活用により全職員で自身の業務態度を振り返り虐待防止意識を高める事ができた。また、身体拘束廃止検討委員会にて毎月拘束廃止に向け協議する場を設け、2名のミトン・抑制帯廃止、1名のミトン使用を廃止することが出来た。

【令和4年度の実習生・ボランティア受け入れ状況】

【実習生】

ソーシャルワーク (社会福祉士)実習	YMCA ※新型コロナ感染症クラスターにより途中で実習先が託麻大地へ変更となる。	1名
介護実習		0名
実務者研修	総合プラント	2名

令和4年度の実習生については計3名を受け入れた。コロナ禍で実習生を受け入れるにあたっては、当施設でも新型コロナ感染症対策を事前に協議した上で、実習受け入れを行ったが、ソーシャルワーク実習においては、実習中にクラスターが発生してしまった為、実習先を変更して実習を続けてもらった。

【地域交流事業・ボランティア受け入れ状況】

ボランティア	5名(生け花の田邊優子先生、他4名)
体験学習	熊本支援学校高等部3年生 1名
地域交流	・ 託麻東小学校の生徒達と手紙での交流 ・ 託麻東小学校4年4組の生徒来苑(R5.3)

年間行事計画や地域活動行事は、新型コロナウイルス感染流行の影響もあり、可能な範囲での実施となった。文化祭での生け花展示の為に、講師の方々に来苑して頂き、地域の方々と交流する貴重な機会となった。体験学習と地域交流は可能な範囲での受け入れを行った。

自宅帰省や外出、ボランティア等の地域の方々との関わりを自粛していた期間もあったが、他の施設と情報共有し、県内外の感染者数等に応じて、家族や友人、知人等との面会や外出・外泊を可能な範囲で制限解除していき、継続した関係構築に繋げることができたと考える。

令和4年度 クラブ・日中活動実績

クラブ名	活動回数	参加人員	主な活動内容
園芸	年3回	10~15名程	<ul style="list-style-type: none"> ・ 季節の花(チューリップ、パンジー、ひまわり、マリーゴールド等)を利用者の方々と一緒にプランターや花壇に植える事で、四季を感じて頂く事が出来た。 ・ 文化祭の際、ボランティアで生け花の先生に来て頂き、一緒に生け花を楽しんで頂いた。作品展示も行い、多くの利用者の方々に鑑賞して頂いた。 ・ 正月には門松や生け花を観賞して頂き、新年度を迎える事が出来た。
調理・お茶会	年6回	20~50名程	<ul style="list-style-type: none"> ・ 夏祭りを兼ねて、かき氷大会を開催し、プロジェクターで花火の映像を見ながら、自ら選んだシロップのかき氷を楽しまれた。 ・ 文化祭ではお店で販売されているケーキやプリンを事前に用意し、一緒に珈琲、紅茶、オレンジジュースを楽しむ事が出来た。経管栄養の利用者の方々にも200mlのバックジュースを準備し、水分補給の時間に注入を行った。感染症対策として、紙皿、紙コップを使用した。色や柄が鮮やかな物を準備し、目でも楽しんで頂く事が出来るように心掛けた。 ・ 調理実習では誕生会を兼ねてケーキ作りを行った。誕生月の経管栄養の利用者の方々にはジュースを胃瘻や鼻腔から注入し、楽しまれた。 ・ 「美味しい緑茶を飲みたい」という利用者からの要望を受けて、新春茶話会を開催した。緑茶と上生菓子を提供し、喜んで頂く事が出来た。
音楽	月3~4回 (日中活動計画に応じて)	10~15名程	<ul style="list-style-type: none"> ・ 感染症対策をとりながら、童謡や昭和の名曲等の音楽に合わせて歌ったり、楽器や手拍子でリズムを取ったりと、賑やかで楽しい音楽活動を心掛けた。 ・ インターネットを活用したカラオケを取り入れ、年代に応じて幅広い歌を楽しむ事が出来た。 ・ クリスマス会でハンドベルを演奏する為に、利用者と職員とで練習を重ね、クリスマス会で披露する事が出来た。
リフレッシュ運動	年4~5回	20名程	<ul style="list-style-type: none"> ・ 春先や秋頃の気候の良いときに苑庭に出て、動かせる範囲で軽体操を行ったり、ボールを使って体を動かしたりして、気分転換を図る事が出来た。
手紙塗り絵	年2回 (塗り絵定期的)	20名程	<ul style="list-style-type: none"> ・ ボールペンなどで書字や記名を練習し、ご家族や友人に手紙・絵手紙を出す事が出来た。 ・ 職員が下絵を描いたもので塗り絵を楽しむ事が出来た。 ・ 感染症対策の為、面会や外泊が少なくなった中で、暑中見舞いや、年賀ハガキを作成し、送ることで交流を図る事が出来た。
日中活動	月・火・水・木・金	74名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 月曜から金曜まで午前と午後に分け、感染症対策を行った上で、出来る範囲での活動を行う事が出来た。 ・ 気候の良い時(3~5月、10~11月)には、屋外で植物観賞やキャッチボールなど、外気浴の活動も取り入れた。 ・ 個別支援計画内容に合わせた個別の自主活動を取り入れ、個別支援目標達成へ向け取り組む事が出来た。 ・ プロジェクターを活用した活動を取り入れ、映画鑑賞、スポーツ観戦等を楽しまれた。また、eスポーツの導入へ向けて動いている所である。 ・ 外出支援も日中活動の中に取り入れ、普段、中々外出が難しい利用者の方でも短時間での買い物やドライブ外出が出来るよう支援を行っている。

利用者現況表

(令和5年3月31日現在:利用者74人)

1 利用者の病症類別 — 性別・障害等級・年齢

属性		障害の状況	入所者の主たる障害・疾患										合計			
			脳性麻痺・脳性小児麻痺	脳血管疾患	頭部外傷	知的障害	ダウン症	頸椎損傷・頸部外傷	その他	【難病】						
										脊髄小脳変性症	後縦靭帯骨化症					
性別	男性	15	8	6	2	3	0	5	1	1						41
	女性	11	4	0	2	2	1	11	2							33
	計	26	12	6	4	5	1	16	3	1						74

身体障害者手帳等級	1級	21	11	5		1	1	12	2							53
	2級	2		1	1			1	1	1						7
	3級	1			2	1										4
	4級					1		1								2
	5級		1													1
	6級															0
	なし	2			1	2		2								7
	計	26	12	6	4	5	1	16	3	1						74

年齢構成別	30未満	男	3													3
		女	3				1		1							5
	30~39	男	1		1					1						3
		女	1							1						2
	40~49	男	1	1			1									3
		女							1							1
	50~59	男	1	1		1										3
		女	1	1			1									3
	60~64	男	1	1	1		2		3							8
		女	2	1					2	1						6
	65~69	男	2		1						1					4
		女		1		2			1							4
	70以上	男	6	5	3	1			2							17
		女	4	1				1	6							12
	計	男	15	8	6	2	3		5	1	1					41
		女	11	4		2	2	1	11	2						33

2 移動状況

区分		車椅子使用	電動車椅子使用	歩行可能	歩行器・装具使用	計
男	要介助	26	0	1	0	27
	自立	12	0	2	0	14
女	要介助	16	0	0	0	16
	自立	13	2	2	0	17
計	要介助	42	0	1	0	43
	自立	25	2	4	0	31

3 介護状況

区分	洗面	更衣	食事	排泄	入浴
全面介助	37	48	16 胃ろう6 鼻腔3	43 カテーテル4	48
一部介助	19	23	16	23	24
自立	18	3	33	4	2
計	74	74	74	74	74

5 障害支援区分

区分 6	61
区分 5	10
区分 4	3
区分 3	0
計	74

4 出身市町村別人員

所轄別	人員	所轄別	人員	所轄別	人員
熊本市	46	合志町	3	天草市	1
八代市	2	益城町	4	西原村	2
山鹿市	2	甲佐町	1	和水町	1
阿蘇市	2	山都町	1		
宇城市	1	大津町	1		
大牟田市	1	球磨村	0		
菊陽町	3	南阿蘇村	0		
湧水町	1	阿蘇郡	2	計	74

令和4年度 朋暁苑(生活介護) 利用状況

(単位:人)

月別	令和3年度		令和4年度		前年対比 (延べ人数)
	月別利用者数	延利用者数	月別利用者数	延利用者数	
4月	84	1,623	81	1,636	13
5月	81	1,703	82	1,641	-62
6月	83	1,617	82	1,587	-30
7月	84	1,714	77	1,598	-116
8月	84	1,701	71	1,528	-173
9月	85	1,650	78	1,495	-155
10月	84	1,778	77	1,570	-208
11月	82	1,652	76	1,474	-178
12月	83	1,730	78	1,572	-158
1月	83	1,715	77	1,554	-161
2月	78	1,518	69	1,297	-221
3月	78	1,690	81	1,636	-54
合計	989	20,091	929	18,588	-1,503
			前年比		92.5%

(単位:人)

市町村	令和3年度		令和4年度		前年対比 (延べ人数)
	利用者数	延利用者数	利用者数	延利用者数	
大牟田市	1	242	1	116	-126
熊本市	54	12,943	54	11,657	-1,286
八代市	2	538	2	538	0
玉名市	1	242	1	262	20
山鹿市	2	493	3	537	44
菊池市	0	0	1	6	6
宇土市	0	0	1	27	27
上天草市	1	202	1	263	61
宇城市	1	269	1	268	-1
阿蘇市	2	538	2	537	-1
合志市	3	759	3	795	36
和水町	1	263	1	240	-23
大津町	1	268	1	253	-15
菊陽町	4	960	4	829	-131
西原村	2	513	2	538	25
南阿蘇村	1	1	0	0	-1
益城町	5	799	5	829	30
甲佐町	1	236	1	269	33
山都町	1	268	1	268	0
多良木町	1	37	1	32	-5
相良村	1	36	1	32	-4
球磨村	1	261	1	32	-229
湧水町	1	223	1	260	37
合計	87	20,091	89	18,588	-1,503

(単位:人)

区分	令和3年度		令和4年度		前年対比 (延べ人数)
	利用者数	延利用者数	利用者数	延利用者数	
区分1	0	0	0	0	0
区分2	0	0	0	0	0
区分3	0	0	1	16	16
区分4	5	789	5	843	54
区分5	15	2,910	12	2,595	-315
区分6	68	16,392	72	15,134	-1,258
合計	88	20,091	90	18,588	-1,503
	平均支援区分合計	116,058	平均支援区分合計	107,199	
	平均障害支援区分	5.8	平均障害支援区分	5.8	

※区分変更の為、利用者数重複あり

令和4年度 短期入所 利用状況

月 別

(単位:人)

月 別	令和3年度		令和4年度		前年対比 (延べ人数)
	月別利用者数	延利用者数	月別利用者数	延利用者数	
4月	17	73	14	84	11
5月	14	62	14	70	8
6月	15	54	15	57	3
7月	13	54	18	67	13
8月	12	43	16	51	8
9月	7	19	16	50	31
10月	17	73	17	65	-8
11月	16	60	19	79	19
12月	17	82	16	69	-13
1月	18	70	10	27	-43
2月	11	65	3	6	-59
3月	3	38	19	82	44
合 計	160	693	177	707	14
			前年比		102.0%

市町村別

(単位:人)

市町村	令和3年度		令和4年度		前年対比 (延べ人数)
	利用者数	延利用者数	利用者数	延利用者数	
熊本市	24	548	23	617	69
八代市	0	0	1	2	2
山鹿市	1	60	1	42	-18
菊池市	1	33	0	0	-33
合志市	0	0	0	0	0
大津町	0	0	1	2	2
菊陽町	3	52	1	34	-18
益城町	0	0	2	10	10
合 計	29	693	29	707	14

障害区分別

(単位:人)

区 分	令和3年度		令和4年度		前年対比 (延べ人数)
	利用者数	延利用者数	利用者数	延利用者数	
区分1	0	0	0	0	0
区分2	0	0	1	16	16
区分3	3	73	1	42	-31
区分4	1	11	1	15	4
区分5	8	62	6	92	30
区分6	13	400	16	474	74
障害児1	0	0	0	0	0
障害児2	0	0	0	0	0
障害児3	5	147	4	68	-79
合 計	30	693	29	707	14
	平均支援区分合計	3,414	平均支援区分合計	3,726	
	平均障害支援区分	4.9	平均障害支援区分	5.3	

※区分変更の為、利用者数重複あり

令和4年度 日中一時 利用状況

(単位:人)

月別	令和3年度		令和4年度		前年対比 (延べ人数)
	月別利用者数	延利用者数	月別利用者数	延利用者数	
4月	4	24	2	3	-21
5月	4	19	3	6	-13
6月	6	21	3	13	-8
7月	4	27	3	14	-13
8月	4	26	4	24	-2
9月	2	8	4	10	2
10月	2	9	3	19	10
11月	4	18	5	16	-2
12月	3	12	0	0	-12
1月	4	12	4	11	-1
2月	1	4	2	2	-2
3月	0	0	5	11	11
合計	38	180	38	129	-51
			前年比		71.7%

(単位:人)

市町村別	令和3年度		令和4年度		前年対比 (延べ人数)
	利用者数	延利用者数	利用者数	延利用者数	
熊本市	7	152	8	108	-44
菊陽町	1	1	0	0	-1
益城町	1	27	1	21	-6
合計	9	180	9	129	-51

(単位:人)

障害区分別	令和3年度		令和4年度		前年対比 (延べ人数)
	利用者数	延利用者数	利用者数	延利用者数	
区分1	0	0	0	0	0
区分2	0	0	0	0	0
区分3	0	0	1	3	3
区分4	0	0	0	0	0
区分5	1	2	2	15	13
区分6	6	66	5	47	-19
障害児1	0	0	0	0	0
障害児2	1	2	0	0	-2
障害児3	1	110	1	64	-46
合計	9	180	9	129	-51
	平均支援区分合計	740	平均支援区分合計	558	
	平均障害支援区分	4.1	平均障害支援区分	4.3	

※区分変更の為、利用者数重複あり

令和4年度リハビリテーション実施状況

●朋晝苑

作業療法士2名（令和4年7月より作業療法士1名入職）

●朋晝苑のリハビリテーション実施項目に対する利用者数

理学療法・ 作業療法	関節可動域訓練、ストレッチ	45
	筋力維持・増強訓練（錘、徒手抵抗など）	5
	プーリー（滑車運動）	14
	エルゴメーター	4
	空気圧マッサージ（メドマー）	5
	立位訓練（肋木、平行棒）	24
	歩行訓練（平行棒、歩行器、杖）	20
	物理療法（ホットバック）	32
	座位保持訓練	2
	自助具・福祉機器操作	5
	嚥下訓練	5
	発語訓練	2
	作業活動（塗り絵、計算課題、パズルなど）	23
	補装具申請	21

●評価

- ・個別支援計画、リハビリテーション実施計画書に基づいた機能訓練
- ・機能低下による嚥下障害に対して、嚥下訓練
- ・褥瘡や転倒予防に対して、ポジショニングや体位交換方法の職員研修及び職員間での情報共有
- ・機能低下や構音障害による発語不明瞭な方への発語訓練
- ・リハビリの一環として、パソコン・タブレット入力支援
- ・ノーリフト介護の普及の一環として、固定式リフター設置や移乗介護ロボットの導入

●今後の課題

今後も幅広く生活に即したリハビリテーションを行うことで、利用者のADL全般にかかわり、利用者がより良く生活できるように取り組んでいく。また定期的な職員研修を実施し、支援員のスキル向上に努める。その他に令和5年度からはeスポーツ導入も検討しており、充実した生活が送れるよう新しい試みにも取り組んでいく。

令和4年度 医務業務実績

◎医務体制

嘱託医 本庄内科病院 1週間に1回来苑（第1週のみ月・木 来苑）
 歯科医 堀田歯科 1週間に1回来苑（金曜日）

◎看護師8名で利用者・職員の健康管理にあたる。

◎年間入院者 48名

傷病名	人員	傷病名	人員
尿路感染症	1名	高熱	1名
イレウス	2名	褥瘡悪化	1名
窒息	1名	手術	1名
心不全	1名	気管支炎	11名
蜂窩織炎	2名	新型コロナウイルス感染	8名
意識レベル低下	2名	肩関節腱延長術	1名
肺炎	12名	乳癌	1名
直腸ポリープ切除	1名		
感染性胃腸炎	2名		

◎死亡 8名

・不全1名 肺炎5名 窒息1名 乳癌1名

◎医療的ケアの必要な利用者

・吸引10名（口腔内 10名・カニューレ1名）
 ・バルーンカテーテル留置4名 膀胱瘻1名
 ・経管栄養11名（胃瘻8名・鼻腔栄養 3名）

◎人工透析 2名、週3回（仁誠会クリニックながみね、西日本病院にて送迎）

◎インフルエンザ予防接種（66名）施行し、インフルエンザ感染者0名。

◎コロナウィルスワクチン接種1回目77人 2回目75人3回目62人4回目58人

【評価】

利用者の重度、高齢化に伴い内科的疾患の入退院が多くなっている。それに伴い、病院との情報交換を行い、早期受診し入院調整を行う。感染に関しては、インフルエンザ、ノロウィルスの感染者はなかった。新型コロナウイルス感染に対しては1回クラスターを引き起こしてしまった。それに伴い、居室全体の環境整備の強化、職員と利用者の健康管理の徹底と勉強会を行い、感染対策の周知指導を行った。引き続き取り組んでいく。

【今後の課題】

利用者の高齢化に伴い、重症化や急変しやすい傾向にあるため、変化がある際は早期対応、急変時の対応について看護師をはじめ支援員への指導を行う必要がある。又、医療的ケアを必要な利用者が増えている為、苑外研修や、定期的な勉強会を継続して行う。又、実例実況の振り返りを行い、今後の看護に繋げていく。感染予防にも引き続き、感染対策を周知徹底し職員全体で取り組んでいく。

令和4年度 受診状況

協力医療機関（本庄内科病院・西日本病院・保田窪整形外科病院・熊本セントラル病院

・くまもと青明病院・仁誠会クリニックながみね）

・戸山外科横田皮膚科・熊本赤十字病院

（単位：人）

診療科目	令和2年	令和3年	令和4年
循環・内科	167	166	137
皮膚科	10	29	26
整形	29	24	17
泌尿器	1	41	58
眼科	9	7	8
透析	300	330	156
精神科	113	163	191
乳腺外科	4	12	5
耳鼻科	11	11	0
婦人科	0	2	0

苑内における診察

（延べ人数）

年 度	嘱託医による診察	歯 科
令和2年度	1066	102
令和3年度	1842	110
令和4年度	1233	143

令和4年度栄養業務実績

形態別

一口サイズ食	11名
粗きざみ食	16名
きざみ食	26名
ミキサー食	10名
流動食	11名
計	74名

食種別

1000 k cal	6名
1200 k cal	15名
1400 k cal	20名
1600 k cal	14名
1800 k cal	2名
2000 k cal	6名
流動食	11名
計	74名

療養食の内訳

糖尿病食	5名
腎臓病食	1名
脂質異常症食	8名
計	14名

主食形態別

御飯	16名
二度炊き	25名
全粥	15名
全粥ミキサー	7名
流動食	11名
計	74名

行事食の状況

4月		みどりの日
5月		節句
6月		
7月		七夕 お盆
8月	夏まつりメニュー(食事のみ)	
9月		敬老の日 彼岸
10月		
11月		
12月	クリスマス会(食事のみ)	
1月	正月	七草 鏡開き
2月		節分 バレンタイン 建国記念
3月	花見弁当	ひな祭り

評価

- ・嚥下困難や食事の負担が大きい方、たんぱく質追加の指示が出た方などで現在14名の方に補助食を提供していますが減少は難しくなっている。
- ・自力で食事摂取される方も少なくなり、食事介助を必要な方が17名と大変多くなり後介助を含めると半数以上の方に介助が必要になり介助量も増える一方になりました。
- ・今年度はコロナウイルスの関係で行事食はクリスマス会、正月、花見弁当と食事のみにしました。季節的な食事は、食事の変化を楽しんで頂くために随時取り入れました。
来年度は本年度に加え、誕生会、お楽しみの日、調理実習などたくさん入れていく予定です。
- ・食事の楽しみを味わって頂くため出前、ドライブスルー、ピザの宅配などを行いました。

地域生活支援センター託麻大地の概要

令和5年3月31日現在

施設名	地域生活支援センター託麻大地	運営主体	社会福祉法人託麻会	設立年月日	平成22年4月1日	定員20名		
種別	生活介護事業	所在地	熊本市東区戸島町461-1	理事長	満永 寿博	管理者	満永 勝士	
敷地	948.39㎡							
建物	平屋 395㎡							
* ホール、浴室、脱衣室、多目的ホール、和室、相談室、静養室、キッチン、スタッフルーム、トイレ等								
利用者定員	20名		利用契約者数	48名				
常勤職員数	15名		非常勤職員数	3名				
利用者の状況	障害支援区分の割合	区分6 32人 区分5 9人 区分4 6人 区分3 1人 区分2 人						
	障害・疾患別割合	脳性まひ	33%	脳血管障害	6%	脊髄損傷	0%	
		特定疾病(介護保険適用)		2%	特定疾患(難病)			6%
		その他	52%	※「特定疾病」と「特定疾患」の両方に該当する症状(例:ALS、パーキンソン病等)をお持ちの利用者については、「特定疾病」と「特定疾患」の両方にそれぞれカウントしている。				
	年齢構成	30歳未満	29%	30～39歳	35%	40～49歳	8%	
		50～59歳	8%	60～69歳	12%	70歳以上	8%	
	重複障害の状況	視覚障害	0%	てんかん	29%	知的障害	79%	
		認知症症状	0%	精神科疾患	18%	遷延性意識障害	2%	
	意思疎通の状況	意思疎通は可能		37%	意思疎通はやや困難			33%
		意思疎通は極めて困難		16%	判断が難しい			12%
施設と地域との交流状況	<ul style="list-style-type: none"> 施設見学や特別支援学校等の体験学習では教員や家族と協力し積極的に受け入れ実施。 法人内行事時に地域ボランティア等を招き交流の機会を確保している。 							
特徴的な事業や重点事業等	<ul style="list-style-type: none"> 理学療法士と連携を図りながらリハビリテーション実施計画書に基づいて訓練を提供している 食事制限がある利用者に対して看護師や管理栄養士と連携を図り、安全で適切な食事提供を実施している。 熊本市を中心に近隣町村までの、幅広いエリアの利用者を受け入れ、家族と連携を図りながら送迎サービスを実施している。 							
【基本方針】								
1 人として共に生き「個人としての尊厳」を重視した、豊かな生活の場とする。								
2 職員は、専門職としての誇りを持ち、知識・技術の高揚・研鑽に努める。								
3 地域に愛され信頼される施設作りに努める。								

令和4年度 託麻大地生活介護事業報告

新型コロナウイルス感染拡大から3年程たった中、令和4年7月と12月グループホームまんまん内で発生したクラスターの影響で、地域生活支援センター託麻大地を感染者棟として閉鎖したため、在宅利用者様・ご家族様には大変ご迷惑をおかけすることとなった。年間行事の開催については、新型コロナ流行状況を見極めながら開催した。令和5年度は引き続き感染予防を行いながら活動制限のない安心して楽しく過ごすことができる施設になることを願いたい。

日中活動については新型コロナ感染状況を見ながら可能な範囲で年間行事を行った。また、活動プログラムに沿って支援しながら、かつ個人的な活動や取り組みに対しても職員が寄り添い充実した取り組みとなるようサポートしてきた。機能訓練に対するニーズも高く、理学療法士による評価のもと訓練を提供し生活意欲への向上に繋がったと考える。実習生受け入れについては、ソーシャルワーク実習として大学や専門学校(熊本学園大学・九州保健福祉大学・熊本YMCA学院)から4人受け入れたことで利用者と学生が交流を図る時間は確保できた。

また、定期的で開催される各相談支援事業所やサービス提供事業所とのモニタリングやサービス担当者会議を通じて、本人やご家族のニーズを共有し、意見交換しながら安定したサービス利用に繋げることもできた。

令和4年度の苦情に関しては、3件で、本人・家族と話し合いを行い円満に解決した。

月	行事	地域交流 施設見学 体験実習
4月		
5月	春の半日ドライブ(新阿蘇大橋)	
6月	朋暁苑入所者との交流会 誕生会(4月～7月)・茶話会	
7月	かき氷大会	
8月		
9月	誕生会(8月～11月)・茶話会	施設見学1名
10月	秋季運動会(卓球バレー)	
11月	秋の半日ドライブ(萌の里) 朋暁苑入所者との交流会 文化祭(作品展示会)	
12月	クリスマス会(プレゼント配布のみ)	施設見学1名
1月		施設見学1名
2月	誕生会(12月～3月) 節分豆まき	
3月	花見散策	

令和4年度 託麻大地(生活介護) 利用状況

(単位:人)

月別	令和3年度		令和4年度		前年対比 (延べ人数)
	月別利用者数	延利用者数	月別利用者数	延利用者数	
4月	44	582	45	636	54
5月	42	596	45	682	86
6月	42	580	45	644	64
7月	43	596	44	640	44
8月	42	596	41	410	-186
9月	42	607	42	618	11
10月	44	638	44	629	-9
11月	45	619	43	621	2
12月	46	660	43	317	-343
1月	45	608	40	570	-38
2月	42	525	43	565	40
3月	43	690	43	615	-75
合計	520	7,297	518	6,947	-350
			前年比		95.2%

(単位:人)

市町村	令和3年度		令和4年度		前年対比 (延べ人数)
	利用者数	延利用者数	利用者数	延利用者数	
久留米市	1	258	1	238	-20
熊本市	29	3,392	29	3,359	-33
山鹿市	0	0	1	196	196
菊池市	1	123	1	240	117
合志市	1	131	1	138	7
大津町	1	234	1	211	-23
菊陽町	5	567	4	433	-134
西原村	1	257	1	162	-95
南阿蘇村	2	415	2	368	-47
益城町	4	1,003	4	919	-84
多良木町	1	226	1	211	-15
相良村	1	227	1	211	-16
球磨村	2	464	2	261	-203
合計	49	7,297	49	6,947	-350

(単位:人)

区分	令和3年度		令和4年度		前年対比 (延べ人数)
	利用者数	延利用者数	利用者数	延利用者数	
区分1	0	0	0	0	0
区分2	0	0	0	0	0
区分3	2	325	3	466	141
区分4	6	1,063	6	936	-127
区分5	11	1,807	11	1,477	-330
区分6	32	4,102	29	4,068	-34
合計	51	7,297	49	6,947	-350
	平均支援区分合計	38,874	平均支援区分合計	36,935	
	平均障害支援区分	5.3	平均障害支援区分	5.3	

※区分変更の為、利用者数重複あり

グループホームまんまんの概要

令和5年3月31日現在

施設名	グループホームまんまん	運営主体	社会福祉法人託麻会	設立年月日	平成22年4月1日	定員20名	
種別	共同生活援助事業	所在地	熊本市東区戸島町459-1	理事長	満永 寿博	管理者	斉藤 愛子
敷地	A棟 767.99㎡ B棟 903.36㎡						
建物	平屋 A棟 282.93㎡ B棟 277.06㎡						
	* 各棟:居室10部屋、ホール、浴室、脱衣室、キッチン、スタッフルーム、トイレ等						
利用者定員	20名		利用契約者数	20人			
常勤職員数	4名		非常勤職員数	6名			
利用者の状況	障害支援区分の割合	区分6 4人 区分5 9人 区分4 6人 区分3 1人 区分2 人					
	障害・疾患別割合	脳性まひ	25%	脳血管障害	15%	脊髄損傷	0%
		特定疾病(介護保険適用)		10%	特定疾患(難病)		20%
		その他	30%	※「特定疾病」と「特定疾患」の両方に該当する症状(例:ALS、パーキンソン病など)をお持ちの利用者については、「特定疾病」と「特定疾患」の両方にそれぞれカウントしている。			
	年齢構成	30歳未満	5%	30～39歳	15%	40～49歳	0%
		50～59歳	10%	60～69歳	35%	70歳以上	35%
	重複障害の状況	視覚障害	0%	てんかん	5%	知的障害	40%
		認知症症状	0%	精神科疾患	5%	遷延性意識障害	0%
	意思疎通の状況	意思疎通は可能		100%	意思疎通はやや困難		0%
		意思疎通は極めて困難		0%	判断が難しい		0%
休日支援状況	<ul style="list-style-type: none"> ・趣味や興味を通じて本人の生活意欲が維持できるよう支援している。 ・近隣のコンビニエンスストアへ職員が同行し、安全に楽しんで外出できる様に支援している。 						
特徴的な事業や重点事業等	<ul style="list-style-type: none"> ・本人の意思や人権の尊重を重視し、その人らしい生活ができる様に支援している。 ・利用者の緊急時はマニュアルに沿って、速やかに他職種・家族との連携を図り対応している。 ・安心して生活して頂くための環境作り・職員配置を行い、常時見守りを徹底している。 						
【基本方針】							
1 人として共に生き「個人としての尊厳」を重視した、豊かな生活の場とする。							
2 職員は、専門職としての誇りを持ち、知識・技術の高揚・研鑽に努める。							
3 地域に愛され信頼される施設作りに努める。							

令和4年度 グループホームまんまん
【外出頻度・利用期間・手帳種類・苦情処理】

【年間外出頻度】

行き先	延べ回数
地域の行事・交流 (行事、点字他の勉強会、行政手続等)	0 回
買い物 (外食・日用品買い物)	0 回
自宅(外泊含む)	1 回
病院受診	234 回
趣味・娯楽	37 回

※新型コロナのレベル状況に応じて外出支援を行っている

※その他、社会生活への参加意欲を高める為、近隣のコンビニへの同行支援を実施している。

【利用者の利用期間状況】 ※開設:平成22年4月 (令和5年3月31日現在)

利用契約後の在籍期間	人 数
10年以上	11 人
9年	0 人
8年	0 人
7年	2 人
6年	0 人
5年	0 人
4年	1 人
3年	0 人
2年	3 人
1年	3 人
1年未満	人
計	20 人

【各種手帳所持状況】

手帳種類	人 数
身体障害者手帳	19 人
療育手帳	8 人
精神保健福祉手帳	1 人

※重複所持あり

【苦情解決】

内 容	件 数	解決件数
要望	件	件
苦情	2 件	2 件

※コロナの影響により利用者の外部に出る機会が減少してしまい、ストレスが増えている中、外出希望が増えてきている。少しずつではあるが状況により職員付き添いにて買い物支援を取り入れている。また家族からの要望(外出、外泊、コロナワクチン予防接種)があっている。その他、苦情にまでは至っていないが、支援に関するご意見等も頂いており、その都度解決に向け話し合いを行っている。

※全員懇談会については、新型コロナ感染症流行に伴い開催が難しく、状況を見ながら調整をし、開催している。利用者からのご意見については普段から傾聴し、利用者が納得・理解されるようその都度、迅速に対応している。

令和4年度 グループホーム 利用状況

月 別

(単位:人)

月 別	令和3年度		令和4年度		前年対比 (延べ人数)
	月別利用者数	延利用者数	月別利用者数	延利用者数	
4月	18	540	20	600	60
5月	18	544	21	617	73
6月	18	540	20	586	46
7月	18	558	20	617	59
8月	19	587	20	620	33
9月	19	570	20	600	30
10月	19	587	20	613	26
11月	19	560	20	600	40
12月	20	601	20	592	-9
1月	20	603	19	589	-14
2月	20	560	19	532	-28
3月	20	620	19	588	-32
合 計	228	6,870	238	7,154	284
			前年比		104.1%

市町村別

(単位:人)

市町村	令和3年度		令和4年度		前年対比 (延べ人数)
	利用者数	延利用者数	利用者数	延利用者数	
久留米市	1	365	1	349	-16
熊本市	10	3,222	10	3,649	427
山鹿市	0	0	1	323	323
西原村	1	365	1	246	-119
南阿蘇村	2	730	2	723	-7
益城町	2	730	2	730	0
多良木町	1	365	1	365	0
相良村	1	365	1	365	0
球磨村	2	728	2	404	-324
					0
					0
					0
合 計	20	6,870	21	7,154	284

障害区分別

(単位:人)

区分	令和3年度		令和4年度		前年対比 (延べ人数)
	利用者数	延利用者数	利用者数	延利用者数	
区分1	0	0	0	0	0
区分2	0	0	0	0	0
区分3	2	471	3	720	249
区分4	6	2,190	7	2,132	-58
区分5	9	3,071	10	2,843	-228
区分6	4	1,138	4	1,459	321
合 計	21	6,870	24	7,154	284
	平均支援区分合計	32,356	平均支援区分合計	33,657	
	平均障害支援区分	4.7	平均障害支援区分	4.7	

※区分変更の為、利用者数重複あり

※利用定員は20名であるが入院・外泊等により延利用者数に変動あり

令和4年度 相談支援事業報告書

事業所名：朋暁苑指定相談支援事業所

1 事業の目的

利用者の有する能力及び適性（特性）に応じ、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、事業者が利用者に対して必要な計画相談支援サービスを障害者総合支援法に基づき適切に提供することを目的とする。

2 相談支援件数（令和4年4月1日～令和5年3月31日）

計画相談支援	件数
朋暁苑利用者	25件
グループホーム	4件
通所	19件
居宅介護	22件
就労	8件
その他	3件
障害児相談支援	20件
<u>合計 101件</u>	

相談支援件数		令和3年度	令和4年度	前年度比
計画相談支援	計画作成件数(件)	100	81	-19
	モニタリング件数(件)	197	190	-7
障害児相談支援	計画作成件数(件)	22	20	-2
	モニタリング件数(件)	41	20	-21
計	計画作成件数(件)	122	101	-21
	モニタリング件数(件)	238	210	-28

3 契約状況（令和4年4月1日～令和5年3月31日）

契約締結者数	人数	契約終了者数	人数
計画相談支援	7名	死亡	7名
障害児相談支援	0名	介護保険移行	2名
	<u>合計 7名</u>	事業所変更	3名
		サービス利用終了	4名
			<u>合計 16名</u>

契約者総数 合計 165名（前年度契約者総数 175名）



令和4年度
事業報告書

地域密着型介護老人福祉施設
特別養護老人ホーム

託麻苑

1 施設の概要

事項	概要	備考
施設名	託麻苑	
所在地	熊本市東区戸島町460番1	
種別	介護保険法 地域密着型介護老人福祉施設 老人福祉法 特別養護老人ホーム	
開設年月日	平成28年6月20日	
利用定員	入居者 29名 ショートステイ 5名	
ユニット区分	全館を4ユニットで構成 1階 いちょうユニット 入居8床 ショート1床 つばきユニット 入居7床 ショート1床 2階 さくらユニット 入居7床 ショート2床 あさがおユニット 入居7床 ショート1床	
敷地	施設の敷地面積 2,607.55㎡ 駐車場の敷地面積 1,842㎡	
建物	鉄骨造2階建 建築面積 971.94㎡ 床面積 1,854.60㎡ 建築年月日 平成28年5月30日	
主な施設	事務室 1室 医務室 1室 相談室 3室 介護職員室 2室 多目的室 1室 地域交流室 1室 厨房 1室 利用者トイレ 12か所 職員用トイレ 2か所	
入浴設備	4か所 普通浴 1 座台式 1 車いす式 1 寝台式 1	
医務用機器	滅菌機、吸引機、携帯用吸引機、AED アンビュウ、医薬品保管用冷蔵庫	
リハビリ機器	ホットパック、メドマー、歩行器(2個)、4点杖、 T字杖、重錘、セラバンド、ペグ	
地域交流室	80人収容 プロジェクタ、音響設備、舞台	
職員の状況 3月末現在	施設長 1 介護支援専門・生活相談員兼務 1 看護師 3 管理栄養士 1 介護職員 18 介護(パート) 3 事務員(パート) 1 厨房(パート) 4	合計32人

2 入居者等の概要

【令和4年3月末現在】

(1) 利用申し込み・入退去の状況

	H29	H30	R1	R2	R3	R4	累計
申込者数	19	28	27	8	15	12	193
入居者数	5	7	10	7	5	10	78
退去者数	5	8	10	7	6	10	51
現入居数	29	28	28	28	28	27	27

* R4年度退所者内訳 転所4 入院中に死亡2 看取り4

(2) 介護度別・男女別の状況

	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
男性	0	1	2	1	4
女性	0	3	11	9	23
合計	0	4	13	10	27

* 平均介護度4.2

(3) 年齢別・男女別の状況

	65歳 ～	70歳 ～	75歳 ～	80歳 ～	85歳 ～	90歳 ～	95歳 ～	100 歳～
男性	0	1	2	1	0	0	0	0
女性	1	2	3	2	3	8	3	1
合計	1	3	5	3	3	8	3	1

*平均年齢85.9歳

(4) 短期入所（ショートステイ）の利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
利用者数	3	9	8	8	8	7	13	13
利用日数	43	82	79	79	80	76	96	97

	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	11	10	8	9	108
利用日数	68	60	48	52	880

* コロナ感染症のため個室対応にて受け入れ

3 令和4年度年間行事実績

(1) 年間行事実績

月	行事名	場所	備考
4月	4/19 つつじ見学(昭和園)	苑外	
5月	5/31 消防訓練	地域交流室	
6月	6/16 運営推進会議(第2回)	地域交流室	
7月	7/6 七夕まつり	地域交流室	
8月	8/24 夏祭り	各フロアー	
9月	9/19 敬老会(午前1階)(午後2階) 9/27 防災訓練 9/28 消防点検	各ユニット 施設内 施設内外	
10月	10/20 運営推進会議(第4回)	地域交流室	
11月			
12月	12/23 忘年会(クリスマス会)	各ユニット	
1月	1/2~1/6 初詣(手作り神社)	地域交流室	
2月	2/3 節分	各ユニット	
3月	3/3 ひな祭り(地域交流室にて写真撮影) 3/27、3/28 花見(桃尾墓苑) 3/30 避難訓練・消防点検	地域交流室 苑外 施設内外	

*誕生会は、入居者様の誕生日に各ユニットで実施した。

*行事は1階・2階フロアーまたは、ユニット毎に実施する事が多かった。

*運営推進会議は、第2回・第4回は予定通り開催したが、第1回・第3回・第5回はコロナウイルス感染拡大の為、中止となった。

*ボランティア交流会はコロナウイルス感染拡大の為、中止となった。

4 入居者支援の状況

(1) ケアプランの策定状況

ケアプランは、原則として6か月単位でモニタリングし見直すこととなっている。策定・見直しの際には、介護職員や看護職員によるモニタリング結果や医師の意見を踏まえて、担当者会議(家族、苑の各専門職で構成)において説明し、家族の同意を得ている。

令和3年度の月別策定・見直し状況は次の通り。

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
5	5	3	4	8	3	5	7	3

1月	2月	3月	合計
3	8	4	58

(2) 医務業務の実績

協力医療機関である本庄内科病院及びパール歯科総合クリニックと連携し入居者の健康管理を支援している。

◆傷病別年間入院者数

傷病名	人数	傷病名	人数
肺炎	8	気管支炎	5
コロナ感染症	3	胸膜炎	1
脱水症	1	イレウス	1
肋骨骨折	1	大転子部骨折	1
全身性けいれん	1	脳出血	1
急性白血病	1	急性胆のう炎	1
蜂窩織炎	1	食事摂取量低下	1

◆死亡者(看取り含む)の状況

- ・女性(95歳) 病名:老衰(看取り)
- ・女性(78歳) 病名:イレウス(病院にて)
- ・男性(88歳) 病名:老衰(看取り)
- ・女性(93歳) 病名:急性白血病(病院にて)
- ・女性(100歳) 病名:肺水腫(看取り)
- ・男性(86歳) 病名:老衰(看取り)

◆医療的ケアの必要な入居者

- ・吸引 10名
- ・経管栄養 2名

◆歯科による口腔ケア研修の実施状況

コロナ感染防止のため口腔ケア研修は中止

◆パール歯科総合クリニックによる定期歯科検診を7月、11月に実施

◆コロナウイルス感染症防止策の実施

- ・コロナワクチン接種の実施 (令和4年8月4回目、令和4年12月5回目)
- ・令和4年4月～令和5年3月 複数回、全職員のPCR検査や抗原検査を実施

- ・入居者・職員の健康チェック機能の強化(1日2回検温)
- ・生活環境の整備(換気・室温・湿度管理・手摺拭き・アクリル板の設置等)
- ・コロナワクチン接種に向けた家族への説明及び医療機関との調整
- ・感染時に必要な備蓄品のチェックと補充

(3) リハビリテーションの実施状況

機能訓練指導員を中心に看護師・介護職員による生活リハビリを実施している。食事や排せつ、整容、入浴など本人の機能を生かした支援を行っている。

(4) 栄養管理業務の実績

◆療養食の内訳

療養食名	対象者数	療養食名	対象者数
糖尿食	2名	腎臓食	0名
心臓食	3名	高血圧食	7名
貧血食	0名	脂質異常食	1名

◆食形態の内訳

食形態	対象者数	食形態	対象者数
常菜	2名	ゼリー	4名
一口大	4名	ミキサー	1名
極刻み	2名	経管栄養	1名
ソフト	11名	その他	2名

※その他は、通常の食事が食べられず、栄養補助食品のみ摂取されている方です

◆行事食の実施状況

月	行事食名
4	筍ご飯
5	こどもの日弁当(オムライス・えびふらい)
6	父の日(赤飯・刺身) あじさい寿司
7	七夕ソーメン 土用丑の日(うな井) 海の日(海鮮焼きそば)
8	お盆(精進の炊き合わせ) 夏祭りカレー
9	敬老の日行事食(松茸御飯・刺身)
10	十三夜(栗ご飯)
11	季節の果物(柿)
12	クリスマス(オムライス・レモンチキン) 大晦日(年越しそば)
1	元旦(御節・雑煮) 小正月(赤飯・刺身)
2	節分(巻き寿司、稲荷寿司)
3	ひな祭り(散らし寿司)

評価

- ・食形態は、常食・ソフト・ミキサー・ゼリーの4種類でしたが、厨房にて常食を加工した極刻み食も追加して、より入居者様の嚥下機能に合わせられるように対応を行った。
- ・通常の食事があまり入らない方や看取りの方へ、状況に合わせて出来る範囲で代替品の準備を行い、食事への満足感、身体状態の維持に努めた。
- ・献立が業者委託になり、散らし寿司などの変わり御飯、色々な郷土料理が増えたことに加え、施設で手作りデザートや、アイス、季節の果物を提供して、入居者様に喜んで頂いた。
- ・夏祭りの昼食で、業者からの食事をストップして、施設の厨房でカレーを作り、入居者様の前でカレーをついで提供を行い、入居者様に喜んで頂いた。
- ・ADLの低下に伴い、自力摂取が難しくなっている方が増えてきました出来るだけ自力摂取が維持出来るよう、他職種と連携して工夫を行った。

(5) 苦情相談受付状況

◆苦情相談受付状況

相談者	件数	主な相談内容
入居者	3件	接遇マナー(職員の言葉遣い・態度)
入居者ご家族	0件	なし
その他	0件	なし
合計	3件	

5 職員研修の実績

◆令和4年度の職員研修(オンライン研修含む)

	研修名	主催	参加人数
4月	認知症介護基礎研修(オンライン)	社会福祉法人東北福祉会	2名
5月	認知症介護基礎研修(オンライン)	社会福祉法人東北福祉会	1名
	感染防止対策研修(オンライン)	熊本県高齢者支援課	1名
	危機管理マニュアルを見直そう!(オンライン)	株式会社ナリコマエンタープライズ	1名
6月	熊本市老人福祉施設協議会職員研修会(オンライン)	熊本市老人福祉施設協議会	1名
	認知症介護基礎研修(オンライン)	社会福祉法人東北福祉会	1名

	熊本市老人福祉施設協議会施設長総会（オンライン）	熊本市老人福祉施設協議会	1名
8月	令和4年度九州老人福祉施設職員研究Web大会（オンライン）	九州社会福祉協議会連合会	5名
	タイムマネジメント研修（オンライン）	熊本県社会福祉協議会	1名
	リスクマネジメント研修（オンライン）	熊本県社会福祉協議会	1名
	熊本県老人福祉施設LIFE研修会（オンライン）	熊本県老人福祉施設協議会	2名
9月	キャリアパス対応生涯研修過程中心堅職員コース（オンライン）	熊本県社会福祉協議会	1名
	福祉職員キャリアパス対応生涯研修過程チームリーダーコース（オンライン）	熊本県社会福祉協議会	1名
10月	ユニット型施設看護師研修（オンライン）	全国個室ユニット型施設推進協議会	1名
	介護予防の為に口腔衛生管理について	熊本パール総合歯科クリニック	2名
	業務改善研修会（オンライン）	熊本県社会福祉協議会	1名
	ハラスメント防止研修会（オンライン）	熊本県社会福祉協議会	1名
11月	福祉サービス苦情解決研修会（オンライン）	熊本県運営適正化委員会	1名
	社会福祉法人新任職員会計実務研修会	熊本県社会福祉協議会	1名
	ハラスメント防止研修会（オンライン）	熊本県社会福祉協議会	1名
	メンタルヘルス研修会（オンライン）	熊本県社会福祉協議会	1名
	事故が起きたら事故カンファレンス（オンライン）	熊本県国民健康保険団体連合会	1名
	モチベーションアップ研修会（オンライン）	熊本県社会福祉協議会	1名
	事故防止とコンプライアンス（オンライン）	熊本県国民健康保険団体連合会	1名
12月	ユニットリーダー研修（オンライン）	日本ユニットケア推進センター	1名
	福祉職員救急法研修会（基礎講習コース）	熊本県社会福祉協議会	2名
	職場リーダーの「伝える力」向上研修会	熊本県社会福祉協議会	1名
1月	福祉職員救急法研修会（基礎講習コース）	熊本県社会福祉協議会	1名
2月	アンガーマネジメント研修会（オンライン）	熊本県社会福祉協議会	1名
	ユニットリーダー実地研修	日本ユニットケア推進センター	1名
	BCP策定支援セミナー	MS&AD インターリスク総研株式会社	1名
3月	介護事業者のための業務継続計画（BCP）作成セミナー（オンライン）	一般社団法人中部産業連盟	4名



令和4年度 事業報告書

介護付有料老人ホーム
特定施設入居者生活介護事業

令寿

1 施設の概要

所在地	〒861-8038 熊本市東区長嶺東2丁目28-80
施設名称	介護付有料老人ホーム 令寿
設置法令	老人福祉法：有料老人ホームの許可施設 介護保険法：特定施設入居者生活介護事業所の指定施設 介護保険事業所番号：4370114573
開設者	社会福祉法人託麻会 理事長 満永壽博
管理者	施設長 吉野正孝

敷地面積	4,825㎡
延床面積	3,358㎡ (全体3,965㎡)
構造	鉄骨造4階建て
居室数・定員	18㎡タイプ72室・72人、29㎡タイプ3室・3人 合計 75室・75人
駐車台数	40台 うち外来者用8台
主な施設	1階：地域交流室、厨房室 2階から4階：トイレ付居室75室、食堂兼リハコーナー3室、ゲストルーム3室、テラス、バルコニー、入浴施設6か所、多目的トイレ4か所、エレベーター1基、和室、多目的室、洗濯室、屋外非常階段

2 職員の状況

<職員配置> (令和5年3月末現在)

	常勤職員	職員数	非常勤職員	職員数
事務・相談部門	・施設長 副施設長 ・事務長 事務員 ・生活相談員 介護支援専門員	1 1 1 1 1 1	管理員 生活相談兼介護支援専門員	1 1
生活支援部門	介護職員	23	介護職員	1
健康管理部門	・理学療法士 ・看護師	1 2	作業療法士 嘱託医	1 1
合計		32人		5人

3 入居者の状況 令和5年3月末現在

(令和2年11月1日から令和4年3月31日)

入居者累計 69人(うち令和4年度22人)
 退去者累計 22人(うち令和4年度11人)
 現入居者数 47人

<介護度別> 令和5年3月末現在

自立	支援1	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計
0	1	2	12	16	11	3	2	47

男10、女37 計47人 平均年齢88.5歳

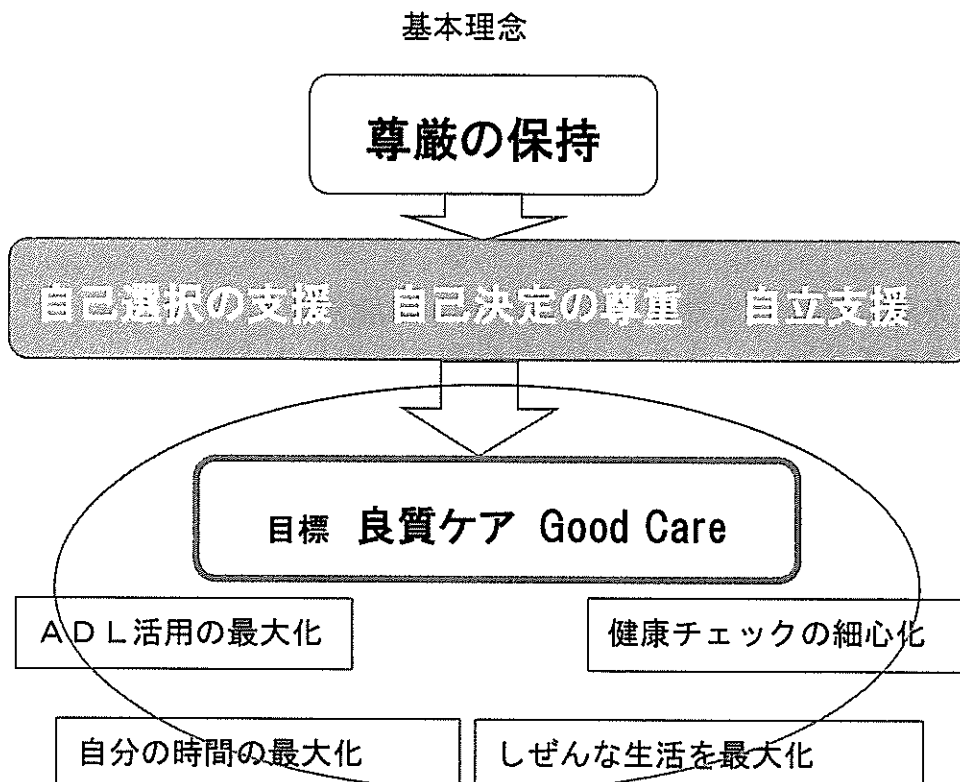
1 運営の基本方針

特定施設入居者生活介護・介護付き有料老人ホーム「令寿」は、当法人が経営する特別養護老人ホーム「託麻苑」や障がい者支援施設「朋暁苑」で培った老人福祉、障がい者福祉の運営ノウハウを結集して運営に当たっています。

ケアの基本理念を「尊厳の保持」とし、「自己選択の支援」「自己決定の尊重」「自立支援」を基本方針とした「良質ケア (Good Care)」を目指します。入居者の「一時的にでもできるADL」、「実践しているADL」を正しく評価・分析し、生活、リハビリ、看護等の総合的な支援体制を構築します。

そのために、職員教育を充実させ、介護と看護の連携を高めながらホームでの新たな生活スタイルをサポートしていきます。また介護中の身体へのご負担を少なくするために最新の福祉機器による「ノーリフトケア」の導入、さらには事務作業の効率化のための ICT 導入も進めています。

一方で、周辺地域での高齢化が高まる中で、福祉施設が持つ専門的ノウハウや基盤を有効活用し、地域福祉の向上のため地域の共助、自助能力向上に取り組み、地域社会での社会的責任を果たしていきます。



2 入居者の生活支援

ホームでは、運営方針に基づき入居者様の一人一人の暮らし方に合った生活支援を行います。

入居者様のご要望にお応えできるサービスをご提供するため、介護支援専門員がご本人やご家族、主治医等から要望や留意点などをお聞きします。その結果に基づき最適な暮らしのプランを作成し、入居者様及びご家族の同意を得た上で、プランに沿った支援を実施します。

ホーム運営の基本目標 Good Care

ホーム運営の基本は、介護サービスや健康管理、生活支援により、より充実した健康的な暮らしができることです。そのような暮らしを実現していくために、次の4つに着目した Good Care を目指します。

ADL活用の最大化

ADLとは、移動・排泄・食事・更衣・洗面・入浴などの日常生活動作 (Activities of Daily Living) のことを言い、ADLが低下する背景には身体機能と認知機能の低下と精神面・社会環境の影響があります。ADLと身体・認知機能、精神面、社会環境は相互に作用し合っており、一つでも機能が低下するとADLの低下へとつながります

要介護状態にある入居者は、基本的に何らかのADL低下がみられ機能回復には困難なケース、多くの労力が必要なケースと様々です。ホームでは残存能力に着目しできる限り活用していくことで、全体的なADL低下を予防していくことを目標とします。そのためには、日常生活のあらゆる場面において入居者の活動性を高める支援を行っていきます。

自分の時間の最大化

ホームの生活は、団体生活に近い状況にあります。それが好ましいとき、好ましくないとき、人それぞれの違いがあります。入居者様の生活スタイルを尊重しながら、個室でゆっくり過ごされる時間、食堂・リビングで団らんしながら過ごされる時間など、自己決定による自立した生活が可能となるよう支援します。

☆特色・・・音楽のある暮らし

日常生活の中にセラピーとして音楽を取り入れます。

朝のお目覚めの時刻や昼食・おやつタイムなどに音楽をお聞きいただきリラックスした、ゆっくりとした時間をお過ごしいただきます。

しぜんな生活を最大化

在宅生活では、暑さや寒さなど自然を感じる事が日常のことです。ホームの中では、年間を通じて空調管理されており、季節感も失いがちになります。ホームでは、少しでもそういった季節感を感じる機会として、時々外に出たり、テラスを散歩したりして楽しんでいただきます。またおやつタイムには、季節感のある果物等の企画を組んでいきます。

健康チェックの細心化

健康管理は、ホームの最大の使命です。看護師を配置し、毎日欠かさずバイタルチェックや服薬管理を行います。定期的な通院送迎はもちろん、普段と様子が違うと感じた場合には適宜スタッフが送迎・付き添いを行いして医療機関を受診、又は訪問診療していただくよう、万が一に備えます。

また体調不良のご入居者には看護師からご家族への連絡を行い、ご要望に応じて看護記録などを閲覧できるよう、ご家族との連携にも努めます。

☆特色・・・誤嚥性肺炎防止のための口腔ケア

高齢者の誤嚥性肺炎は、口腔ケアの徹底で大幅に軽減できます。
訪問歯科医と連携し口腔ケアに取り組みます。

3. 令和4年度の取り組み

(1) 基本的な取り組み

1-1 概況

令和4年度は厳しい社会環境下での施設運営になりました。

新型コロナウイルスが猛威を振るい、高齢者施設はいずれも感染防止対策に追われました。令寿ではクラスターが発生し、職員の濃厚接触者も多く出て自宅待機したので介護士が不足し、令寿の運営は一時綱渡りとなりました。4階要員がいたことと保健所と相談して濃厚接触者の自宅待機期間をぎりぎり圧縮したことで乗り切りました。

11月4階オープンを目指して要員の確保、育成を行いました。新型コロナウイルス感染防止対策からの社会的な行動規制もあり、秋から冬にかけて入居相談が激減し、4階オープンは翌年度にずれ込みました。

1-2 年間入居者目標・実績

(人)

月	R4.4	5	6	7	8	9	10	11	12
目標	38	38	40	40	40	40	42	43	42
実績	39	40	41	44	47	46	46	48	47

月	R5.1	2	3
目標	43	46	50
実績	46	45	47

令和4年度末で採算ライン(減価償却前)のご入居者様50名を目指したが、未達でした。

計画達成率 94%

入居率(定員75人) 63%

1-3 重点施策

①新型コロナウイルス感染防止対策の徹底

職員は週1回の抗原検査を8月から週2回実施し、また、感染防止対策の基本であるマスクの着用、消毒、換気を行いました。ご入居者様の面会制限、外出、外泊の原則禁止を実施しました。

しかしながら

・令和4年8月2日 職員1人感染確認、ご入居者様1人感染体調悪化で

入院

- ・令和4年8月23日 職員1人感染確認
 - ・令和4年9月6日 職員1人感染確認 ご入居者様2人感染 施設内療養し軽快
 - ・令和4年10月20日 職員1人感染確認
 - ・令和4年12月16日 職員12人感染確認 ご入居者様10人感染
クラスター発生 施設内療養で9人軽快するも、1人は療養期間翌日急変逝去
- クラスター発生により、熊本市介護事業指導室から事業継続支援チーム(看護師、介護士)を受け入れて、翌年1月9日クラスター解除

- ②職員のチャレンジ活動としてCS・5S運動を推進する。CS:顧客満足
5S:整理、整頓、清掃、清潔、躰、
CS・5S委員会を設置してCS・5Sに対する職員の理解を深めました。
清掃についてはPDCAを回すように指導して、チェックを厳しくし
令寿が”きれい”と言われるように努めました。
3階ステーション、倉庫、ゲストルームの整理を行いました。

③ご入居者様獲得の営業活動強化

新型コロナウイルス感染者数の急増に伴い社会的な行動規制が厳しくなりましたので、直接的な営業活動は充分できませんでした。

代りに令寿の魅力づくりに取り組みました。

・健康管理イメージアップ

令和4年10月から島本正人医師を非常勤の嘱託医として雇用し、毎週2回の入居者様の健康相談を始めました。ご入居者様のお話をよく聞かれながら健康状態を診られ、また、耳垢、爪の状態も見られます。

情報誌「たより」2023春夏号に嘱託医による健康相談スタートを掲載しました。

・食事の評判アップ

令寿畑の産物及び旬の食材を提供して、”美味しい食事”の提供に努めました。

フキ、ジャガイモ、トマト、ニガウリ、梅、大根、人参、みかん、キンカン

元日のおせち料理・・・食材費の大幅な高騰がありましたが、委託先の(株)東臣様に立派な料理を作って頂きましたので、ご入居者様には大変好評でした。

(2) 介護部門

①4月の定期組織変更、人事異動で介護部門2階と3階の統合を図り、統括する介護リーダーを置いて介護職員の柔軟な運用を行いました。

②ご入居者様への声かけ、コミュニケーションに力を入れる。

介護部門に特命のベテラン介護士を置き、新規入居者様は不安感が強いので、重点的に声をかけるようにしました。

③4階オープンの準備を整えました。

備品の点検を行うとともに、4階介護要員を5名新規採用及び1名事業所間異動で確保し、2階、3階での実習を行いました。

(令和5年4月4階オープン)

(3) 健康管理部門

[日常の健康管理]

- ・一般的なバイタルサインの評価、アセスメント栄養状態、体重排泄・水分摂取の把握・褥瘡予防・創傷処置・軟膏塗布 家族との連絡
- ・新規入居者・相談者の情報収集・各関係者との連絡
- ・主治医との情報共有 健康状態に関する情報提供を書面にて行う
- ・薬局との連携

受診や訪問診療の調整・受診同行者の調整

受診実績 令和4年度 受診合計 1,063件

内訳：訪問診療 543件

協力医療機関(主治医)受診 181件

他科受診、緊急・臨時受診 224件 など

入院 24件 (緊急搬送11件)

入院後病状悪化や死亡による退居 3名

口腔衛生体制推進：歯科医師、歯科衛生士からの指摘事項フォロー

感染症の予防：新型コロナウイルスワクチン接種4回目・5回目

職員のPCR検査・抗原検査(スクリーニング目的で週3回)

特に新型コロナウイルス感染症への対策

適宜、感染症委員会の開催、職員への指導注意喚起、換気、消毒の徹底
消毒薬やガウンなど感染防止の為の消耗品の準備

[職員の健康管理]

定期健康診断

各種予防接種、出勤時に体温測定

(4) 機能訓練部門

[機能訓練]

ご入居者様の健康維持・増進を図るとともに、関節の拘縮や血管障害等の緩和・予防のため、物理療法や運動療法を行いました。また、日々の生活を送るのに必要な ADL の維持・向上のため、認知症の予防や症状の軽減を図るため、作業療法を行いました。

R4年4月～R5年3月 年度で3,605人 月平均300人

新型コロナウイルス陽性者判明で、保健所の指示のもとリハビリ休止

8/3～8/10 スタッフコロナ陽性でリハビリ休止

9/7～9/20 作業療法士コロナ陽性でリハビリ休止

12/19～12/25 2階ご入居者様リハビリ休止

12/26～1/13 クラスタ発生で全館リハビリ休止

[ノーリフトの普及と研修]

中途入職者対象

ノーリフト勉強会(10/27、11/9) 施設講師 計2回

令和4年度は、コロナ感染レベルが2から下がることがなかった。その為、外部講師を招いての研修が全く出来なかった。

度重なるコロナ陽性者の判明により、保健所の指示により、集団での活動が禁止されて研修会を制限することになった。

[嚥下機能研修]

高齢者に多い誤嚥による肺炎を予防するために嚥下機能の勉強会を開催した。(OTとともに実施)

(5) 行事計画

新型コロナウイルス感染防止対策の為、外出行事及びクラスター発生の際の行事は大幅に制限を受けました。

なお、令寿畑の収穫には、ご入居者様が参加されて大変喜ばれました。

月	行事	毎月
4月	お花見	☆お誕生会
5月	母の日	
6月	父の日、令寿畑じゃがいも掘り	
7月	七夕祭り、令寿畑トマト収穫	
8月		
9月	敬老会	
10月		
11月		
12月		
R5.1月	正月遊び	
2月	節分・豆まき	
3月	花見	

※各月の誕生会では、写真付きのメッセージカードをラミネート加工して額縁に入れ、ご本人にお渡ししました。

新型コロナウイルス感染の県のリスクレベルが2及び3のときは、外部講師によるレクレーションを休止しました。レベル2のときには職員、職員の身内の講師によるレクレーションを実施しました。

おしゃべり会 池上和子パートタイマー
みんなで歌おう 吉野早枝子
抹茶を楽しもう 施設長、前田勝美パートタイマー
写経(般若心経) 施設長、橋本清美介護福祉士
大正琴クラブ 前田勝美パートタイマー
回想法 下田博子部長生活相談員
三味線 久原圭嗣介護士
ピアノ 田中剛介介護福祉士

(6) 不在者投票施設指定

介護付有料老人ホーム令寿は、令和4年10月25日付けで熊本県選挙管理委員会より「不在者投票施設指定」を得ることが出来ました。

・令和4年11月13日執行の熊本市長選挙で令寿に不在者投票所を設置

熊本市内に住所のあるご入居者様36人が投票されて、“投票出来てうれしい”と喜ばれました。

(7) 委員会活動

9の委員会活動を行いました。特に新型コロナウイルス感染防止対策のため、また、感染後の対応のため、感染委員会を多く開催しました。

安全衛生委員会	堀内厚美委員長	毎月開催	
リスクマネジメント委員会	飯干誠二委員長	毎月開催	
感染対策委員会	下津紀久子委員長	毎月開催	臨時開催
給食・口腔委員会	下田博子委員長	毎月開催	
身体拘束廃止・褥瘡委員会	倉岡樹実委員長	2ヶ月に1回開催	
物品管理・環境美化向上委員会	満永智美委員長	2ヶ月に1回開催	
CS・5S活動委員会	谷口智之委員長	毎月開催	
ノーリフト・車椅子管理委員会	富田敦子委員長	随時開催	
看取り委員会	下津紀久子委員長	毎月開催	

(8) 職員研修

新型コロナウイルス感染防止のため外部講師による研修が制限を受けました。
4階オープンの為の要員の基本研修は日数を増やして実施しました。

内・外部	区分	研修	対象者
内部研修	基礎研修	職員基本研修 7/1-7/8 7/18-22 8/22-8/26	新入職者
	介護	ノーリフト研修 10/27 11/9	介護職員
		嚥下機能について(OTとともに実施)	介護職員
		身体拘束廃止・虐待防止・褥瘡予防研修 4/21 6/23 8/23 11/10 12/15 R5.3/16	介護職員
感染対策	感染防止対策研修 救急シュミレーション 新型コロナウイルス 食中毒について(資料配布) 標準予防策の着脱方法 嘔吐処理 基本的な感染予防対策 (外部講師)	介護職員	
外部研修	介護	喀痰吸引研修 12月~R5.1月3名 業務継続支援計画の策定 11/1 都道府県経営協セミナー 2/8	介護職員 施設長 施設長

•
•



•
•

令和4年度 デイサービス令寿事業報告書

令和4年度は引き続き新型コロナ感染予防の為、感染対策を徹底しクラスターや濃厚接触で休まれる事がないよう利用者・職員とも十分な健康管理を行いました。

利用者数については、一日平均利用者数は令和4年3月、14.5人→令和5年3月18.8人と増えており要支援・要介護者合わせて60人となりましたが、今年に入りようやくケアマネや利用者知人からの紹介で体験者の依頼が特に多く合計6名あり、その内5名は新規利用に繋がりました。目標の一日利用25名、実績75.2%、利用者満足度（接遇・介護他全般）目標80%実績85%と満足度についてアンケート結果は、去年よりも高い数字が出ています。目標の25名に届いていない理由としてやはり、新型コロナの影響で営業活動ができておらず、見学者や体験者の受け入れができませんでした。

又、在宅はご家族の介護疲れや私情によりショートステイや当日休みも多く、1ヶ月利用予定回数よりも必ずと言っていい程減ってしまう為、極力振替利用を進めています。

（活動の充実）

年間行事については、3月の桜の花見（外出訓練）は社会の感染者数が減少した事で実施ができ、久しぶりの外出は写真を撮り利用者に大分喜ばれました。

レクでは個室カラオケ等5月8日以降迄待つて頂く事を説明し了解されましたが、利用者が飽きないように工夫をし、コミュニケーションを持ちながら何とか対応しました。

令和5年度からは本格的に、外部ボランティアの訪問を積極的に受け入れていき利用者の満足度が向上できるよう努めていきます。

（食事）

給食委員会を通して委託業者との積極的な意見交換ができ、その都度改善ができています。

利用者個人の理由にも柔軟に対応され、御飯とスープは特に美味しいと満足していただいています。

（設備）

庭園での花や野菜を植え育てる事で成長の楽しみとなり、心身の安定にもつながっています。

三密を防ぐ為グランドゴルフ等はできていません。

（機能訓練）

理学療法士と機能訓練指導員により、利用者の日常動作の把握と生活目標を設定し、機器を使用しながら身体機能の維持と増進に努め個別計画書は、3ヵ月毎に評価を実施しました。

（入浴）

利用者の心身状況や希望に応じ最適な入浴サービスを提供し、入浴中体調不良がないよう利用者の異常の早期発見と対応に努めました。健康管理については看護師を主に他職種と密に連携ができました。

（感染症対策）

消毒と清掃を徹底し、新型コロナの感染レベルに応じ職員一人一人が感染症に対し知識と感染対策ができるよう取り組んだ結果、クラスターは一度もありませんでした。

(CS・5S活動)

CS（顧客満足度）が向上するよう、利用者からの要望は可能な限り改善に取り組みました。

5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）については、業務改善を何度も職員で話し合い、業務の効率化、安全の確保、快適な職場環境に努めました。

デイサービス利用状況

利用月	利用人数	営業日	平均人数
4月	408	26	15.6
5月	426	26	17
6月	374	22	16.3
7月	390	26	15
8月	293	20	14.6
9月	408	26	15.7
10月	410	26	15.8
11月	420	26	16.1
12月	409	25	16.3
1月	402	24	16.8
2月	424	24	17.6
3月	510	27	18.8

要介護度内訳

要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護度5
6	11	20	15	3	2	0

デイサービス令寿年間行事

4月	花見・外出訓練	10月	紅葉狩り・外出訓練
5月	端午の節句	11月	文化祭
6月	運動会	12月	クリスマス会
7月	七夕	1月	初詣・外出訓練
8月	夏祭り	2月	節分
9月	敬老会	3月	桃の節句

•
•



•
•

令和4年度 ケアプランセンター令寿活動報告

① ケアマネジメントの充実

○利用者の心身状況や人格尊重および公正中立な立場でのサービス調整

本人および家族の意向を尊重しつつ、アセスメントによる的確な課題分析のもと、望む暮らしが実現できるよう支援している。また、特定の事業所にサービスの偏りが生じぬよう、複数の事業所を紹介することによる利用者の選択を促している。

○自立支援にむけたケアマネジメント

安易なサービスの位置づけではなく、本人が有する能力を可能な限り活用できるよう、必要最低限の支援内容に止め、自立支援へ向けたケアプラン作成に努めている。

○幅広い情報の収集

2ヶ月に1回開催される『東3地域包括・ケアマネ合同連絡会』へ毎回参加し、最新の介護保険または地域社会資源の情報等について収集・共有を図っている。

○地域関係機関や団体等との連携および利用者への情報提供

介護保険事業所だけに止まらず、行政機関やささえりあ、障害サービス関連事業所等とも連携を図ることで支援している。

○加算要件の確認および書類の整備

居宅支援費請求時においては、加算の算定可否を要件にて確実に確認。必要となる書類についても、確実に作成および保管することを徹底している。

○ケース記録の整備と職員間での情報共有

運営基準に定められた項目を遵守することを大前提とし、進捗状況管理表等を用いて確認するとともに、期間内に作成することとして意識付けを図っている。

② 介護支援専門員の資質向上

○災害時等における地域へ提供が可能となるネットワーク構築

BCP作成が未実施の状況にあり、早急に取り掛かりたい。

○研修参加による連携強化およびマネジメントへの活用

月に1~2回開催される外部研修へ参加し、専門職としての資質向上に努めている。

○介護支援専門員として必要となる知識や技術を身に付ける

ささえりあ主催の『自立支援型ケア会議』へ、事例提供者として参加している。

○不満や苦情への適切且つ迅速な対応

一連のマネジメント業務において、これまで目立った苦情等の発生はなし。

○秘密保持・個人情報取り扱いの徹底

業務上知り得た情報は、マネジメント上において必要な関係各所への提供に限るものとし、その際は本人・家族へ随時了承を得ることとしている。

③ その他に関する項目および所感

○人員体制の変化による利用者数の減

令和5年3月、施設ケアマネジャーの突然の退職に伴う人事発令。やむなく1名体制での事業所継続を見込む状況において、担当件数の調整が必要となり、他事業所およびさえりあへの引継ぎ依頼を余儀なくされた。(要介護者：8名 要支援者：6名)

○目標達成に至らなかった要因

他事業所や医療機関等へ対し、広報活動が十分ではなかった。近隣医療機関等、有用な社会資源を活用できていない現状は反省すべきところであるので、次年度への課題として取り組みたい。

ケアプランセンター令寿 令和4年度 進捗状況

【令和4年度事業計画】

令和4年3月時点の総件数：41件

令和4年度計画	管理者	22件
	介護支援専門員	30件
	総件数	52件

【令和4年度実績】

	4月		5月		6月		7月		8月		9月	
	登録人数 (総件数)	実働数 (実績)	登録人数 (総件数)	実働数 (実績)	登録人数 (総件数)	実働数 (実績)	登録人数 (総件数)	実働数 (実績)	登録人数 (総件数)	実働数 (実績)	登録人数 (総件数)	実働数 (実績)
要支援1	20	17	20	17	18	17	18	16	19	18	21	21
要支援2												
金額	¥65,960		¥65,960		¥65,960		¥62,080		¥69,840		¥81,480	
要介護1	21	20	21	18	22	19	22	19	22	21	21	19
要介護2												
金額	¥215,200		¥193,680		¥204,440		¥204,440		¥225,960		¥204,440	
要介護3	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
要介護4												
要介護5												
金額	¥55,920		¥55,920		¥55,920		¥55,920		¥55,920		¥55,920	
総件数	45件		45件		44件		44件		45件		46件	
進捗率	86.50%		86.50%		84.60%		84.60%		86.50%		88.40%	
加算	11件	¥25,500	0件	¥0	1件	¥3,000	1件	¥500	2件	¥8,500	3件	¥16,500
月遅れ	1件	¥13,760	1件	¥16,980	1件	¥10,760	0件	¥0	0件	¥0	0件	¥0
金額総計	¥376,340		¥332,540		¥340,080		¥322,940		¥360,220		¥358,340	

デイ令寿 利用者数	16名	16名	15名	15名	16名	16名
デイ令寿 利用者総 数	56名	58名	57名	57名	57名	60名

	10月		11月		12月		1月		2月		3月	
	登録人数 (総件数)	実働数 (実績)	登録人数 (総件数)	実働数 (実績)	登録人数 (総件数)	実働数 (実績)	登録人数 (総件数)	実働数 (実績)	登録人数 (総件数)	実働数 (実績)	登録人数 (総件数)	実働数 (実績)
要支援1	21	20	21	20	20	20	21	20	22	21	22	19
要支援2												
金額	¥77,600		¥77,600		¥77,600		¥77,600		¥81,480		¥79,220	
要介護1	22	19	24	21	25	23	24	23	23	21	26	23
要介護2												
金額	¥204,440		¥225,960		¥247,480		¥247,480		¥225,960		¥247,480	
要介護3	5	4	6	3	6	3	6	3	5	2	4	2
要介護4												
要介護5												
金額	¥55,920		¥41,940		¥41,940		¥41,940		¥27,960		¥27,960	
総件数	48		51		51		51		50		48	
進捗率	92.30%		98.0%		98.0%		98.0%		96.1%		92.30%	
加算	1件	¥3,000	4件	¥15,000	5件	¥18,000	3件	¥13,000	2件	¥11,000	3件	¥7,000
月遅れ	0件	¥0	0件	¥0	0件	¥0	0件	¥0	0件	¥0	0件	¥0
金額総計	¥340,960		¥360,500		¥385,020		¥380,020		¥346,400		¥361,660	
デイ令寿 利用者数	17名	18名	18名	18名	18名	18名	17名	19名				
デイ令寿 利用者総 数	51名	57名	55名	55名	53名	58名						

•

•



•

•

•